

3 事業統合後の新組織運営の課題と活性化のための方策

研究代表者	千葉産業保健総合支援センター	所 長	能川 浩二
研究分担者	千葉産業保健総合支援センター	産業保健相談員	諏訪園 靖
共同研究者	公益社団法人千葉県医師会	産業保健担当理事	深沢 規夫
	公益社団法人千葉県医師会	産業保健副担当理事	松岡かおり
	千葉大学大学院環境労働衛生学	助 教	能川 和浩

1 はじめに

平成26年4月より、従来の3つの産業保健事業を一元化し、独立行政法人労働者健康福祉機構（以下機構）が事業の実施主体となり、地域の医師会の協力を得ながら事業を実施するように、大きな変革がなされた。

地域産業保健事業が機構の事業とされたことから、地区医師会としてはどのように関与すべきかについて、新たな支援事業が開始される26年2-3月時点では千葉県内の地区医師会には混乱が見られている。新たな支援事業を成功させるためには実務を担うとされる地区医師会と地区医師会員である登録産業医が積極的に事業に参加することが極めて重要な要因である。

本調査の目的は機構が担う新たな事業を成功させるために、医師会から推薦されてこの事業に参加の意志を示し、機構から「登録産業医」として辞令を交付されている地区医師会会員を対象に質問紙による調査を行い、実状を知り、地域産業保健事業活動を成功させるために解決すべき課題を明らかにし、今後の千葉産業保健総合支援センターの活動の方向性を示すことである。

2 対象と調査方法

調査対象者は千葉県の地域産業保健センターに登録されている全ての医師である。調査内容は産業医としての活動状況、従来の地域産業保健センターへの関わり、新しい事業に対する知識・参加の意志、今後の活動意欲を高めるために求める事などである。調査方法は、郵送で質問紙を送付して約1カ月後に回収した。

3 結果

①本調査の調査対象者は9地域産業保健センターの登録産業医全員であるが、1地域産業保健センターでは辞令交付がなされていないために8地域産業保健センターの186名である。そのうち、122名から、質問紙が返送され、結果として回収率は65.6%であった。

②登録産業医は、現時点では活発に産業医活動に従事し、従来の地域産業保健活動にも参加している産業医である。

表1 産業医としての活動状況

	人数	
現在している	108	88.5%
過去にしていた	9	7.4%
産業医として活動したことはない	5	4.1%
合計	122	100%

表2 地域産業保健センターでの健診結果の説明等の業務の経験について

	人数	
現在している	103	85.1%
過去にしたことがある	9	7.4%
したことはない	9	7.4%
合計	121	100%

③新組織に登録産業医として参加した理由は医師会からの要請が8割であったが、新組織での産業医活動が有意義であること、産業医活動に興味があることも2割を占めた。

表3 地域産業保健センターの業務に参加した理由

	人数(112人中)	
地域産業保健センターの活動を有意義と思ったから	32	28.6%
産業保健（産業医）活動に興味があったから	26	23.2%
医師会からの要請があったから	86	76.8%
医師会の受託であったから	22	19.6%
診療が忙しくなかったから	1	0.9%
その他	2	1.8%

④地域産業保健センターの産業医業務について、9割の医師が意義を認めている。

表4 地域産業保健センターの産業医業務の意義

	人数	
有意義と思う	47	42.0%
ある程度有意義と思う	53	47.3%
あまり有意義とは思わない	10	8.9%
全く有意義とは思わない	1	0.9%
わからない	1	0.9%
合計	112	100.0%

⑤平成26年4月1日より従来の地域産業保健センターは千葉県医師会への委託事業から労働者健康福祉機構に統合（事業一元化）されたことについて、知っている医師は64%である。

⑥統合の理由について知っている医師は27%である。

表5 地域産業保健センターが統合された理由について

	人数	
よく知っている	8	7.3%
まあまあ知っている	22	20.0%
あまり知らない	30	27.3%
ほとんど知らない	10	9.1%
全く知らない	40	36.4%
合計	110	100.0%

⑦統合への賛否では、わからないとの回答が75%である。

表6 地域産業保健センターの統合について

	人数	
賛成	22	19.6%
反対	5	4.5%
わからない	85	75.9%
合計	112	100.0%

⑧新組織の産業医業務に参加する医師は61%である。

表7 参加の意思がありの理由（複数回答可）

	人数(68人中)	
有意義な事業であるため	21	30.9%
医師として地域で果すべき役割のため	37	54.4%

従来から参加していたため	50	73.5%
時間的に余裕があるため	2	2.9%
産業保健活動に興味があるため	22	32.4%
その他	3	4.4%

⑨新組織への改善を望む事項について、「新組織についての十分な説明」、「新組織と医師会との関係についての説明」、「今後の活動についての説明」が共に4割を占めた。

表8 地域産業保健センターの事業に産業医として参加し活動する意思を高めるために改善を望む事項について（複数回答可）

	人数(122人中)	
労働者健康福祉機構の下での新しい組織についての十分な説明	51	41.8%
新しい組織と医師会との関係についての説明	55	45.1%
今後の活動についての展望の説明	55	45.1%
業務の実施方法の改善	19	15.6%
面談場所等の環境の改善	13	10.7%
報酬の増額	23	18.9%
産業医活動中の傷害保険の適用等の身分保障	18	14.8%
産業医活動に対する相談等の支援充実	21	17.2%
その他	6	4.9%

4 考察

登録産業医は、産業医経験が豊かであり、地域産業保健センター活動の意義を認め、6割は新組織での活動参加への意思を示している。しかし、組織としての地区医師会には新組織への否定的意見も見られ、9地域産業保健センター中1地域では活動が出来ない状況にある。組織としての対応が重要である。

5 研究成果の活用

千葉産業保健総合支援センターの今後の活動方向を決めるための資料として活用する。千葉県医師会、地区医師会、登録産業医に調査報告書の内容を説明し、更なる協力、支援関係の構築に努める。千葉県医師会産業医研修会等にて調査内容を説明して登録産業医への参加を呼び掛ける。